

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年11月10日(2022.11.10)

【公開番号】特開2021-83940(P2021-83940A)

【公開日】令和3年6月3日(2021.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2021-025

【出願番号】特願2019-216887(P2019-216887)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/103(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/103

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月1日(2022.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼の眼屈折力を測定する眼科測定装置であって、

前記被検眼に測定光を投光し、前記被検眼で反射した前記測定光を受光することによって、前記眼屈折力に応じたパターン像を取得する測定光学系と、

前記測定光が通過する瞳領域のうち、特定された部分瞳領域に対応する前記パターン像に基づいて前記眼屈折力を算出する演算手段と、

を備えることを特徴とする眼科測定装置。

【請求項2】

前記演算手段は、前記部分瞳領域に応じて分割された前記パターン像に基づいて前記眼屈折力を算出することを特徴とする請求項1の眼科測定装置。

30

【請求項3】

前記演算手段は、複数の前記部分瞳領域にそれぞれ対応する複数の前記眼屈折力を算出可能であることを特徴とする請求項1または2の眼科測定装置。

【請求項4】

前記被検眼の前眼部を撮影することで前眼部画像を取得する撮影光学系をさらに備え、

前記演算手段は、前記前眼部画像に基づいて前記部分瞳領域を特定することを特徴とする請求項1～3のいずれかの眼科測定装置。

【請求項5】

前記演算手段は、前記パターン像に基づいて前記部分瞳領域を特定することを特徴とする請求項1～4のいずれかの眼科測定装置。

40